

## ■石狩市人口ビジョン

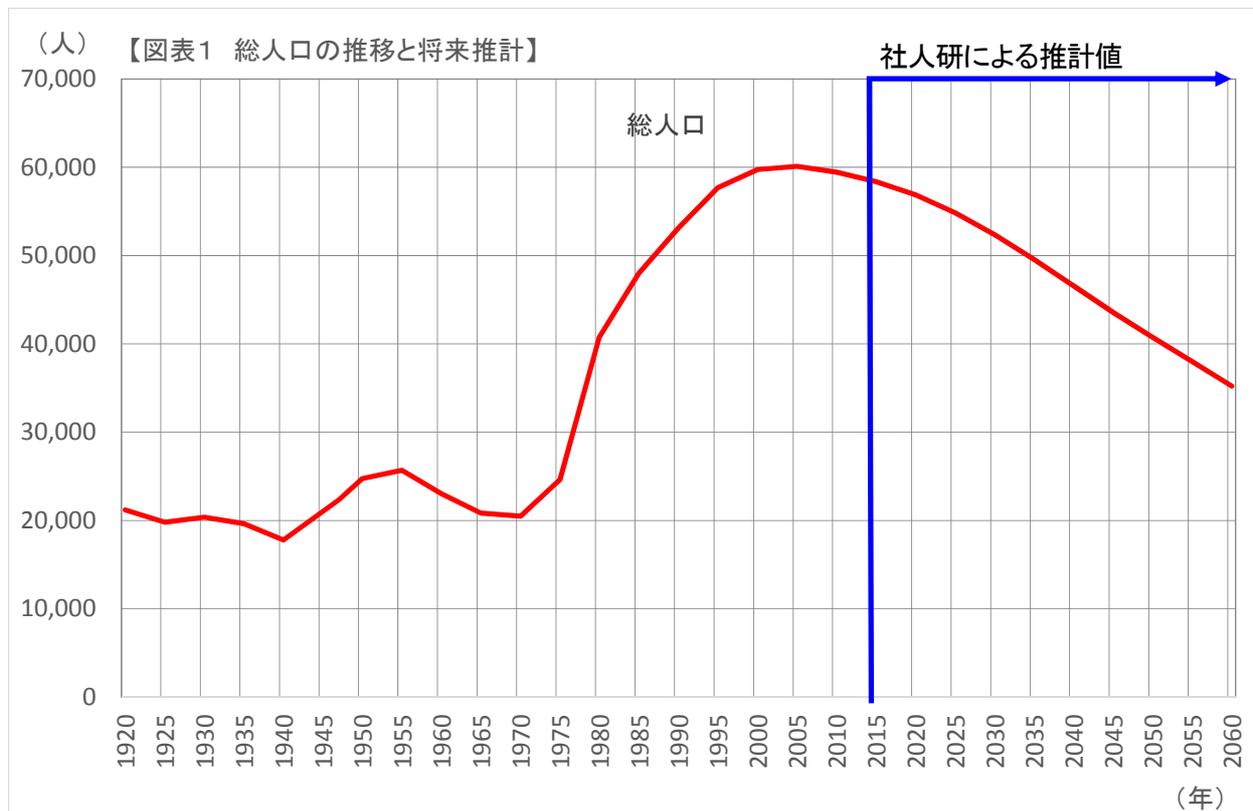
### 第 1 人口動向分析

本市における、過去から現在に至る人口の推移を把握し、その背景を分析することにより、講ずべき施策の検討材料を得ることを目的として、時系列による人口動向や年齢階級別の人口移動分析を行います。

#### 1. 時系列による人口動向分析

##### (1) 総人口の推移と将来推計

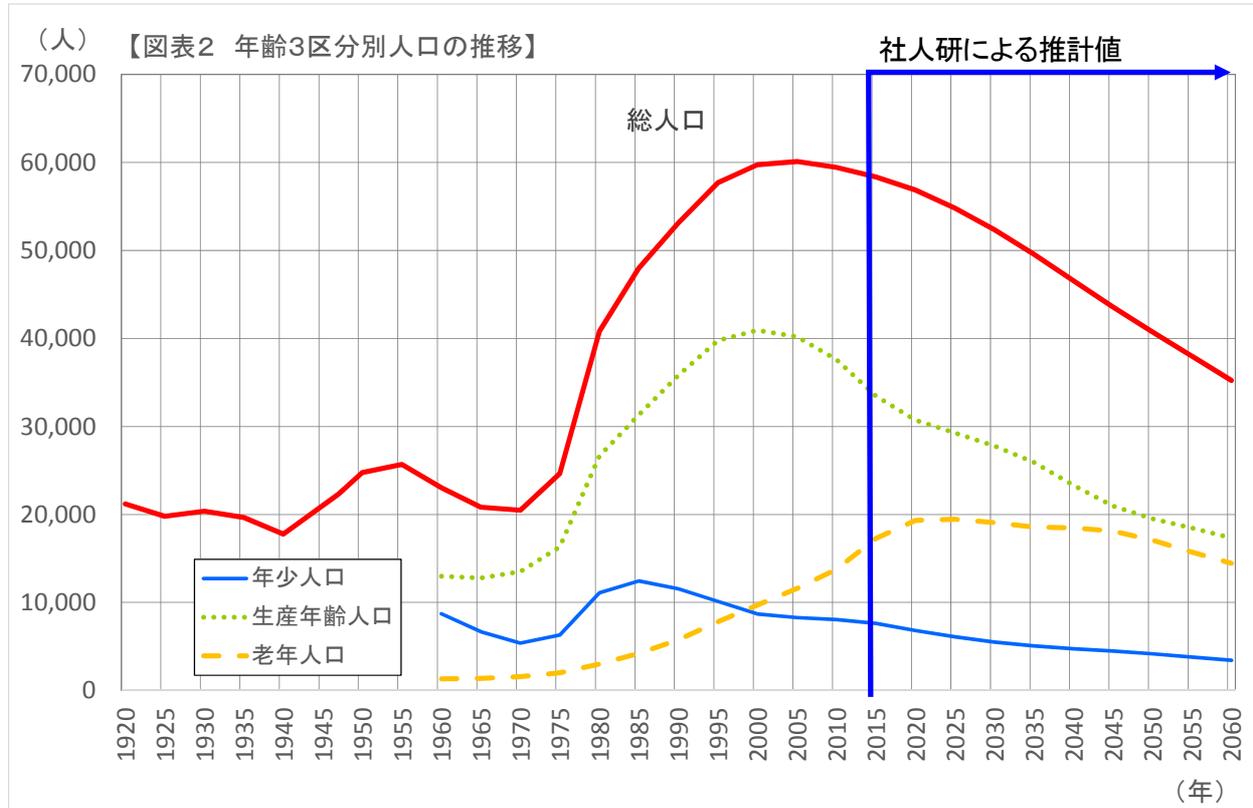
(分析・考察)



※2010年までは国勢調査により作成、2015年以降は社人研推計値に準拠して作成。

(2) 年齢3区分別人口の推移

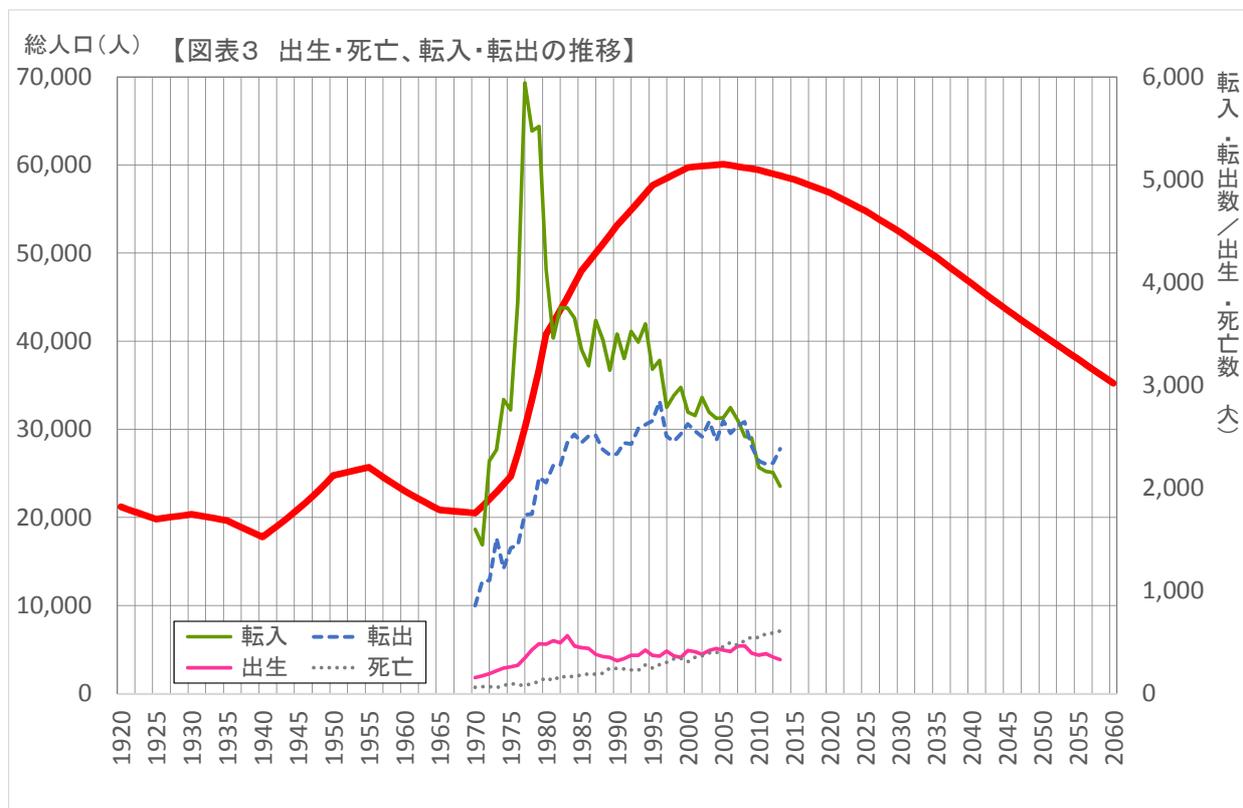
(分析・考察)



※2010年までは国勢調査により作成、2015年以降は社人研推計値に準拠して作成。

### (3) 出生・死亡、転入・転出の推移

(分析・考察)

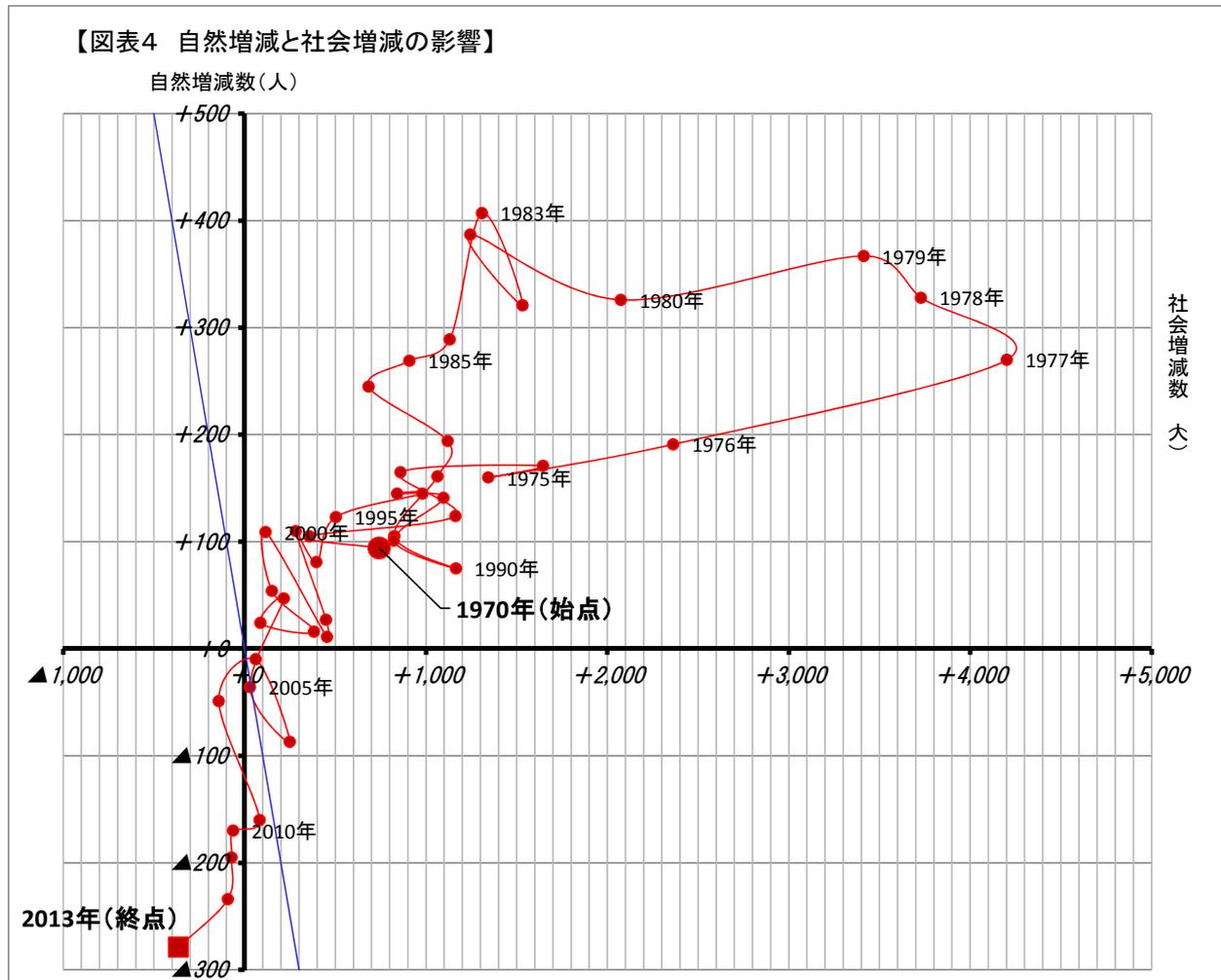


※2010年までは国勢調査により作成、2015年以降は社人研推計値に準拠して作成。

※転入・転出数／出生・死亡数は市民課調べ。

(4) 総人口の推移に与えてきた自然増減と社会増減の影響

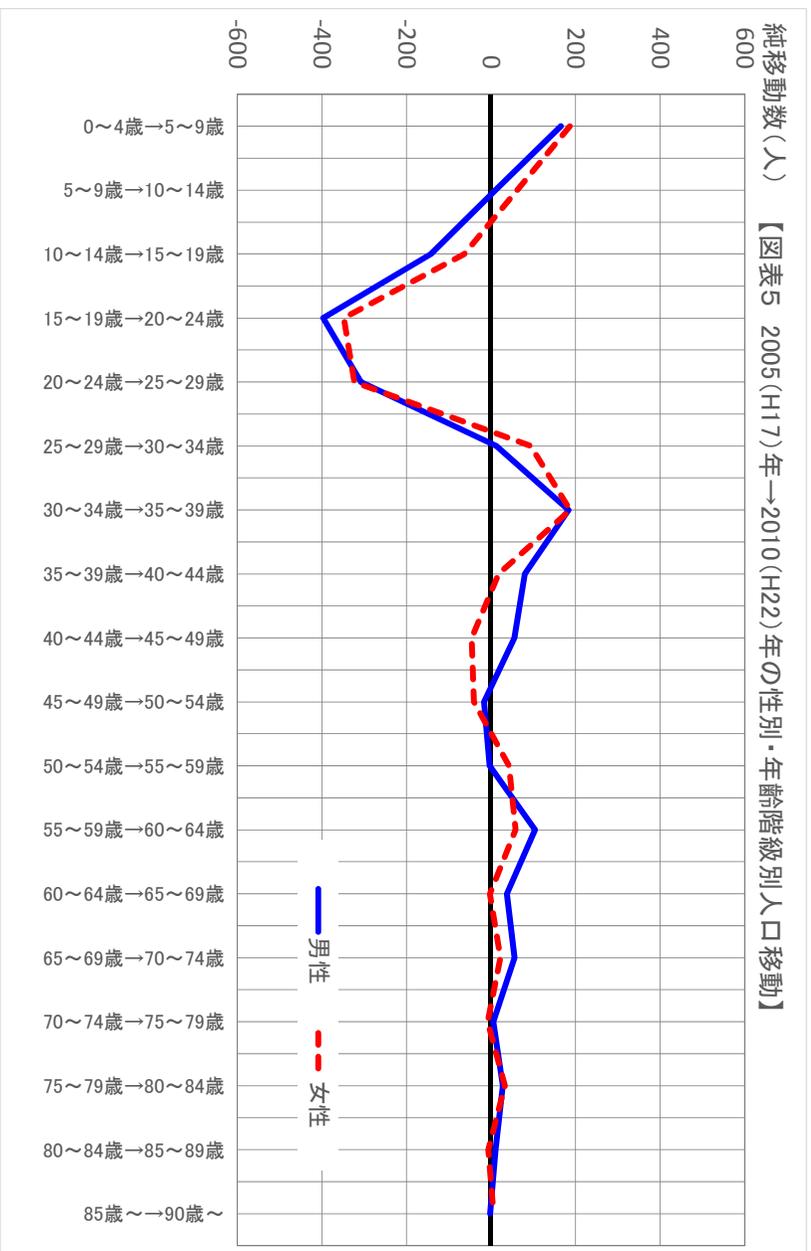
(分析・考察)



## 2. 年齢階級別の人口移動分析

### (1) 性別・年齢階級別の人口移動の状況

(分析・考察)



※国勢調査より2010 (H22) 年と2005 (H17) 年の5歳階級別人口の差から純移動数を推計し作成。

(2) 性別・年齢階級別の人口移動の状況の長期的動向

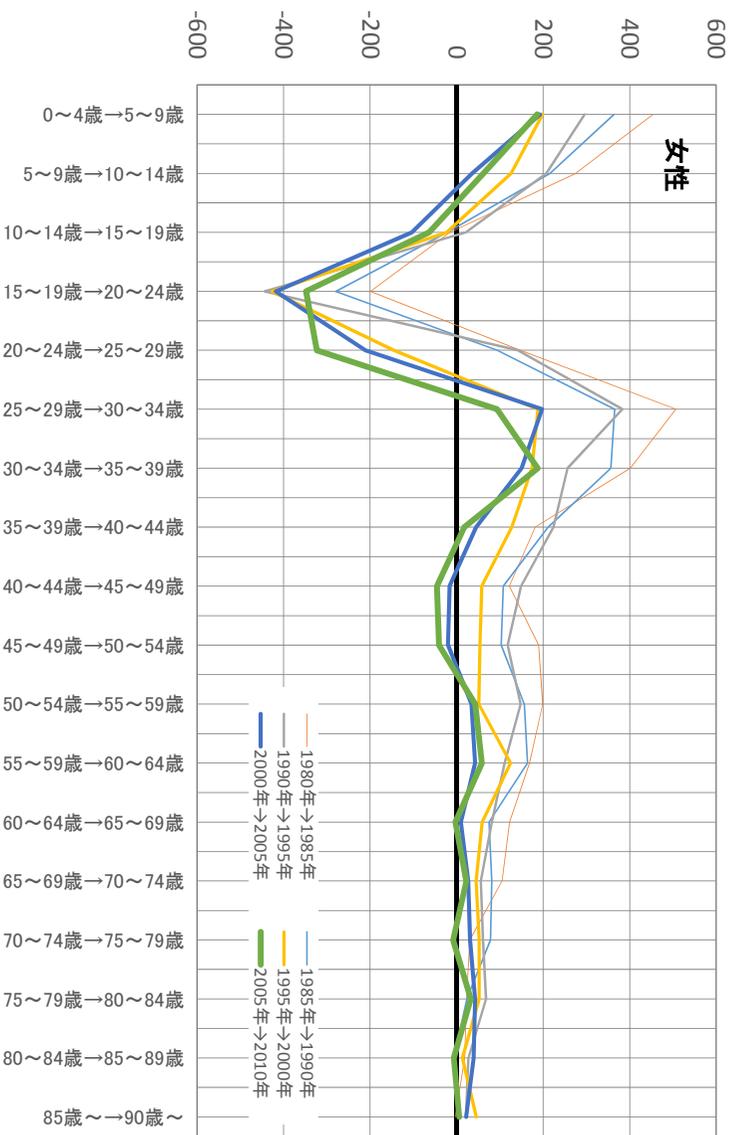
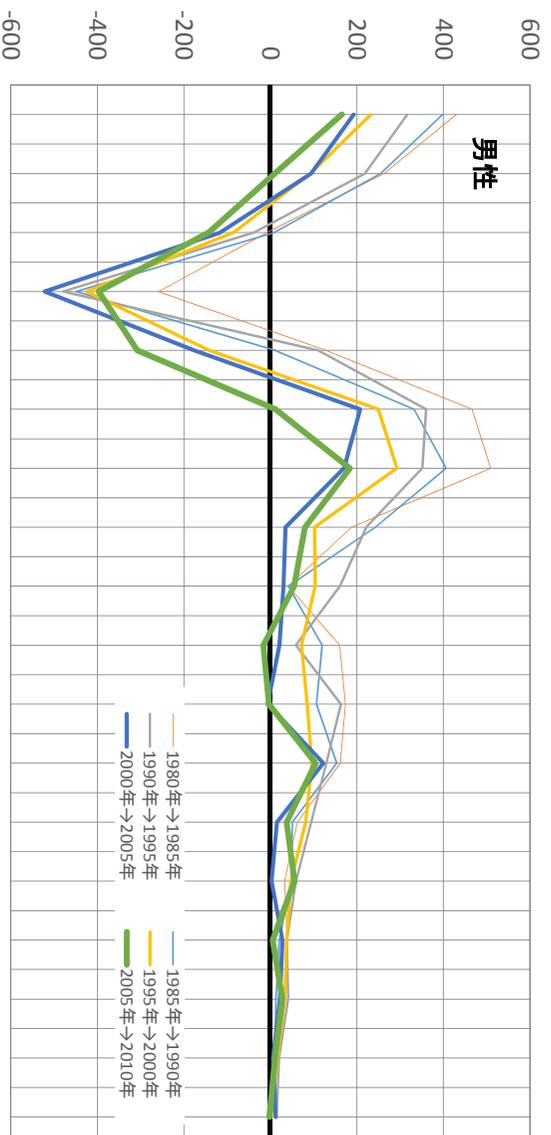
①男性

(分析・考察)

②女性

(分析・考察)

純移動数(人) 【図表6 年齢階級別人口移動の長期的動向】



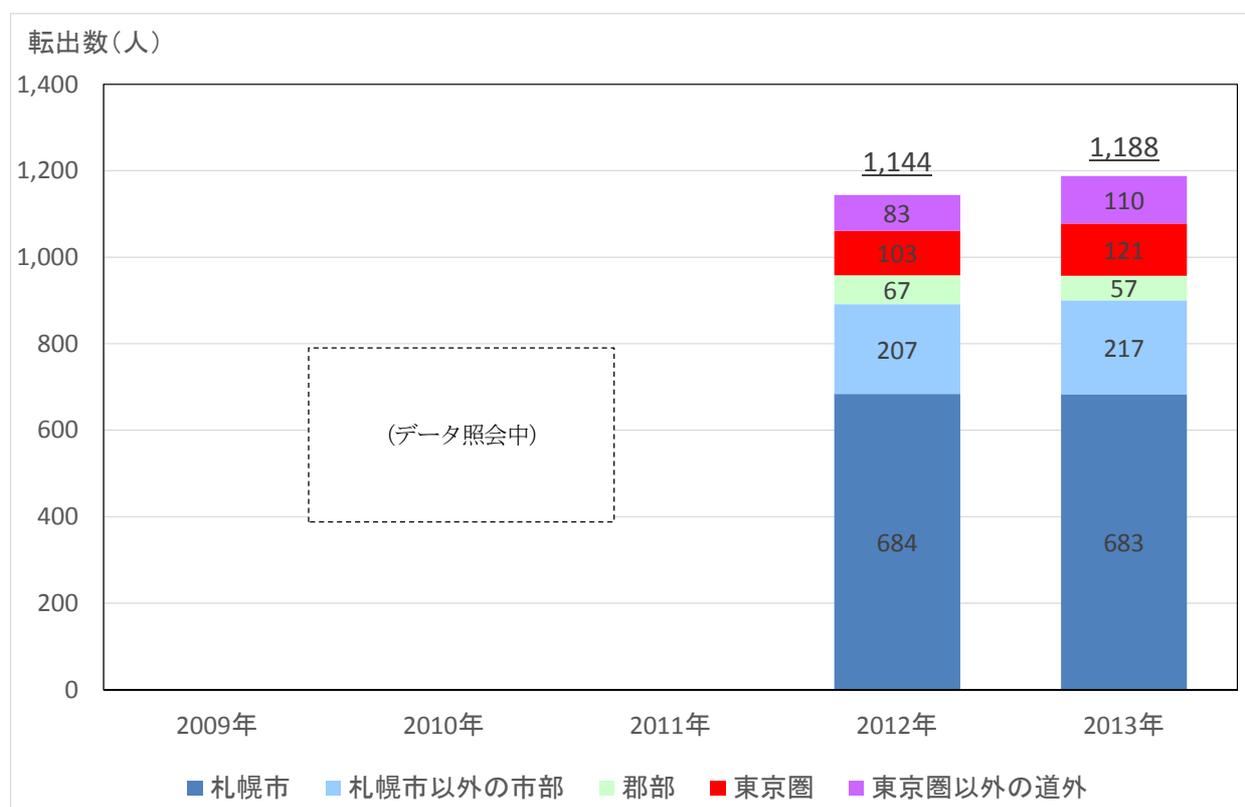
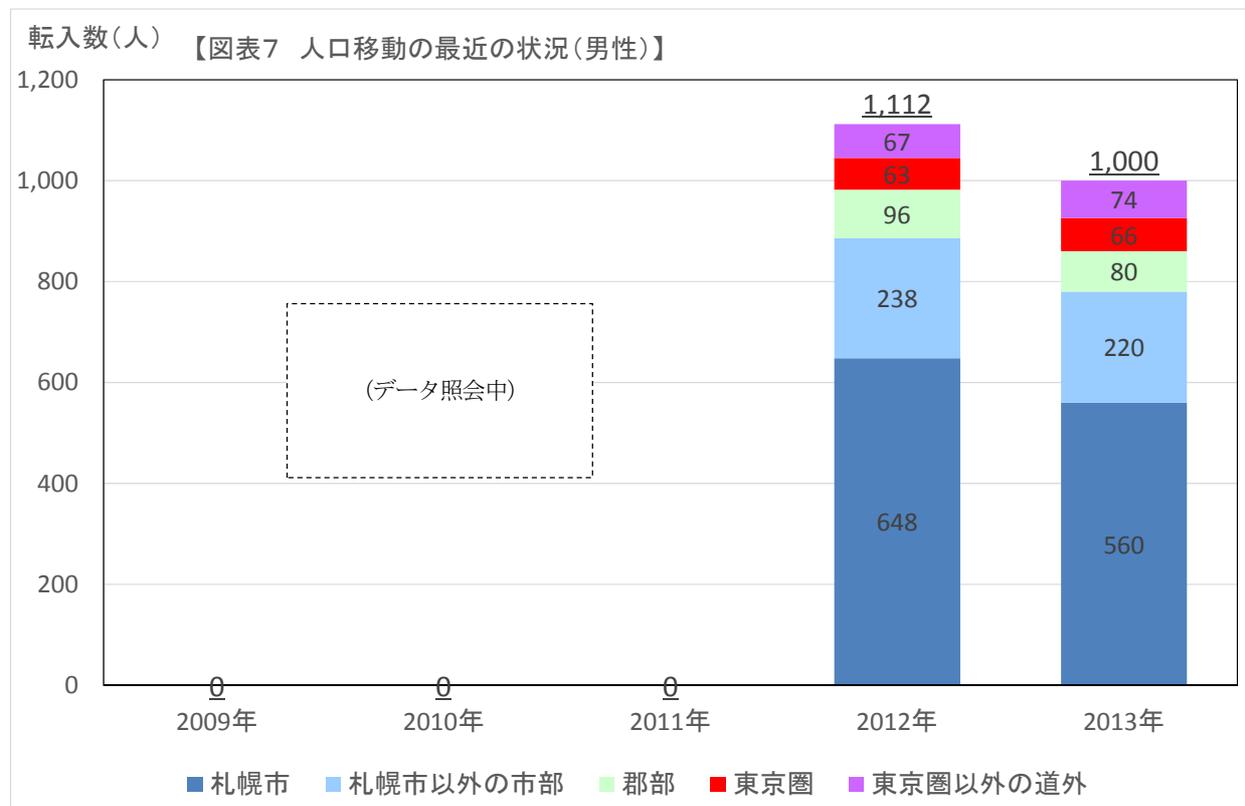
※国勢調査より2010 (H22) 年と2005 (H17) 年の5歳階級別人口の差から純移動数を推計し作成。

### (3) 人口移動の最近の状況

#### ①男性

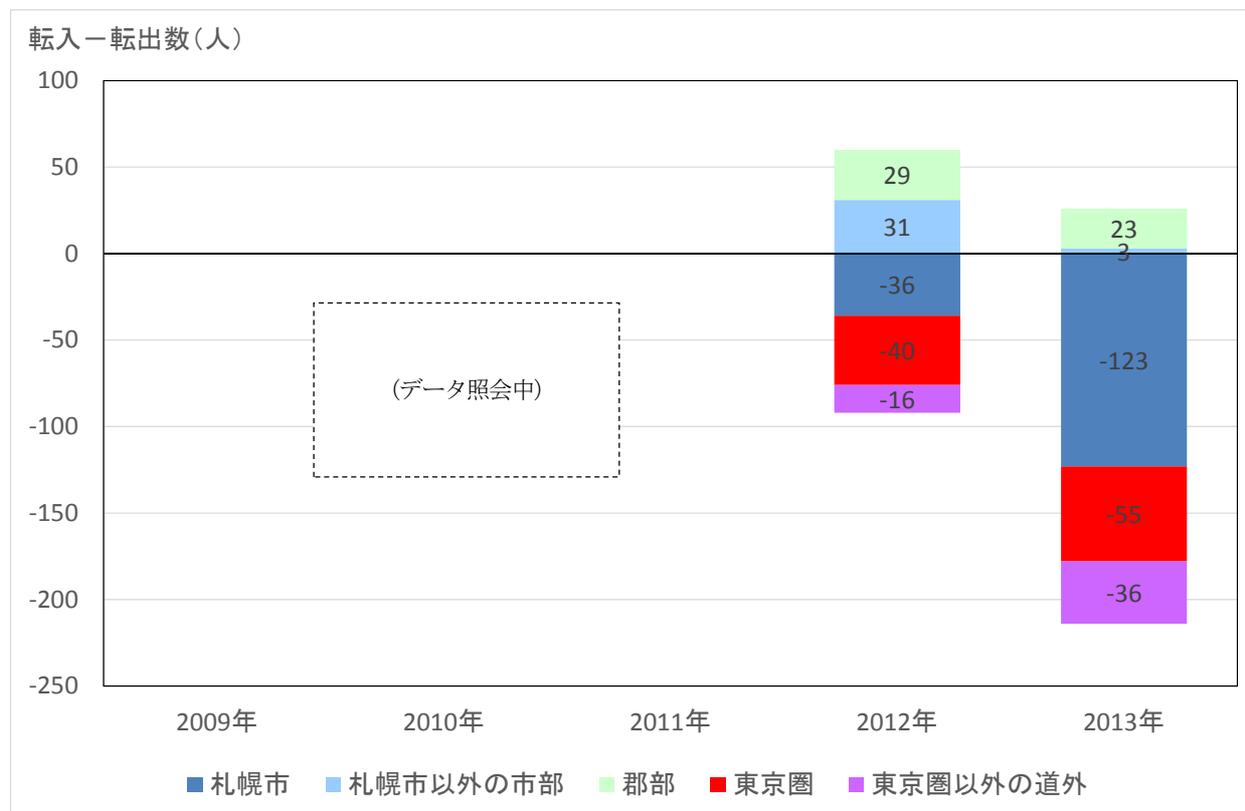
(分析・考察)

(転入・転出)



※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表(国提供)」データにより作成。

(転入・転出超過)

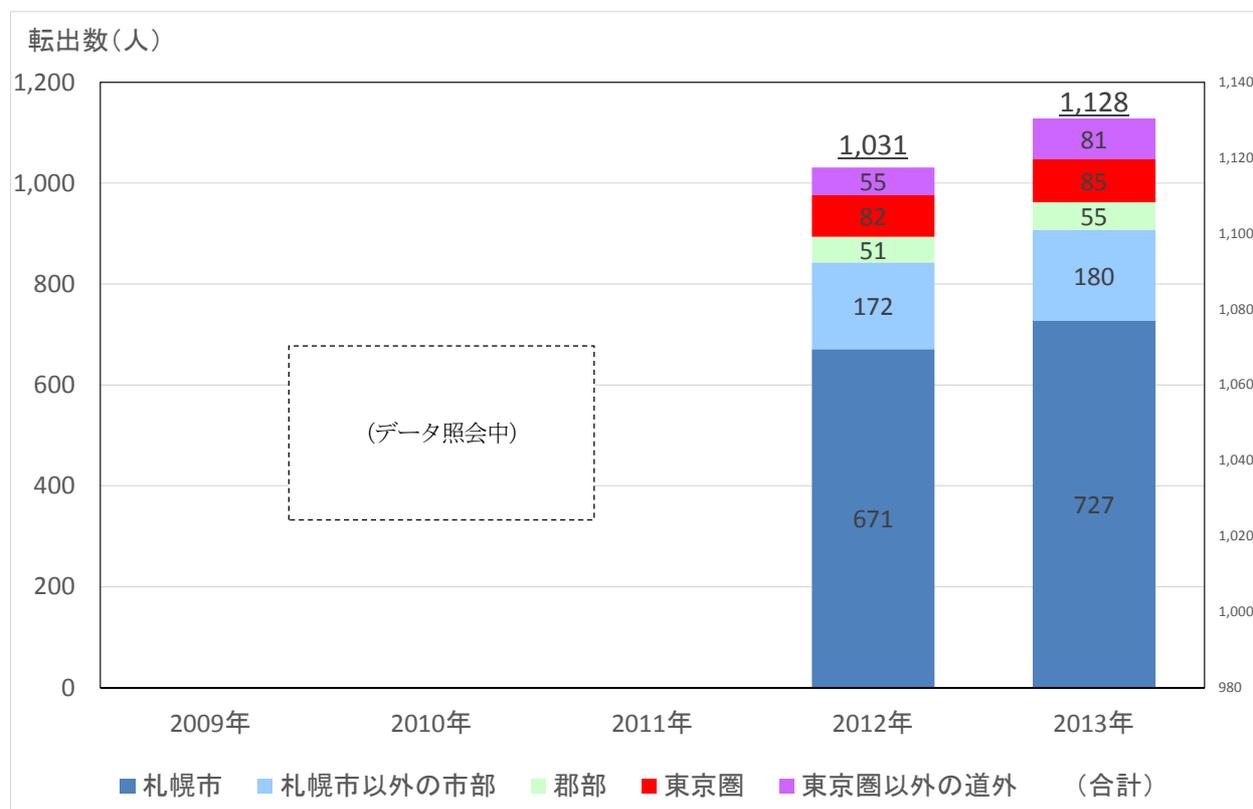
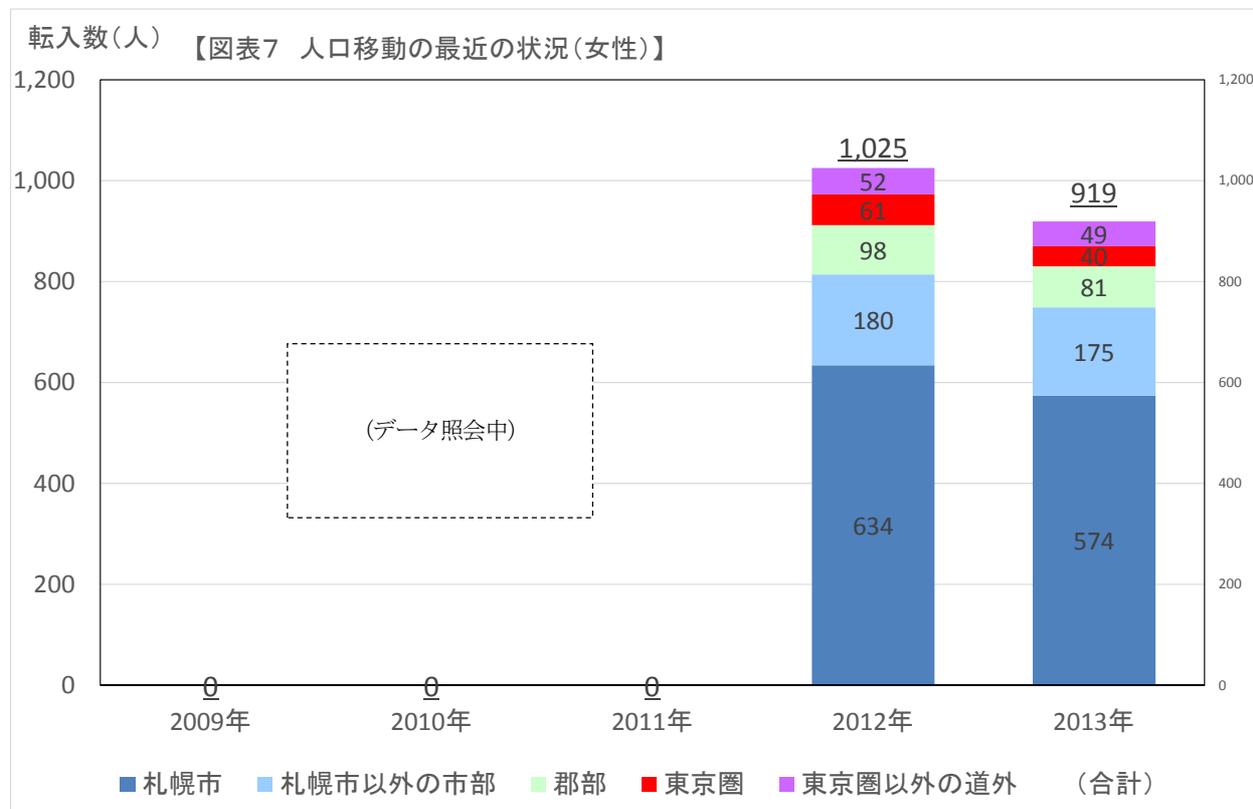


※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表(国提供)」データにより作成。

②女性

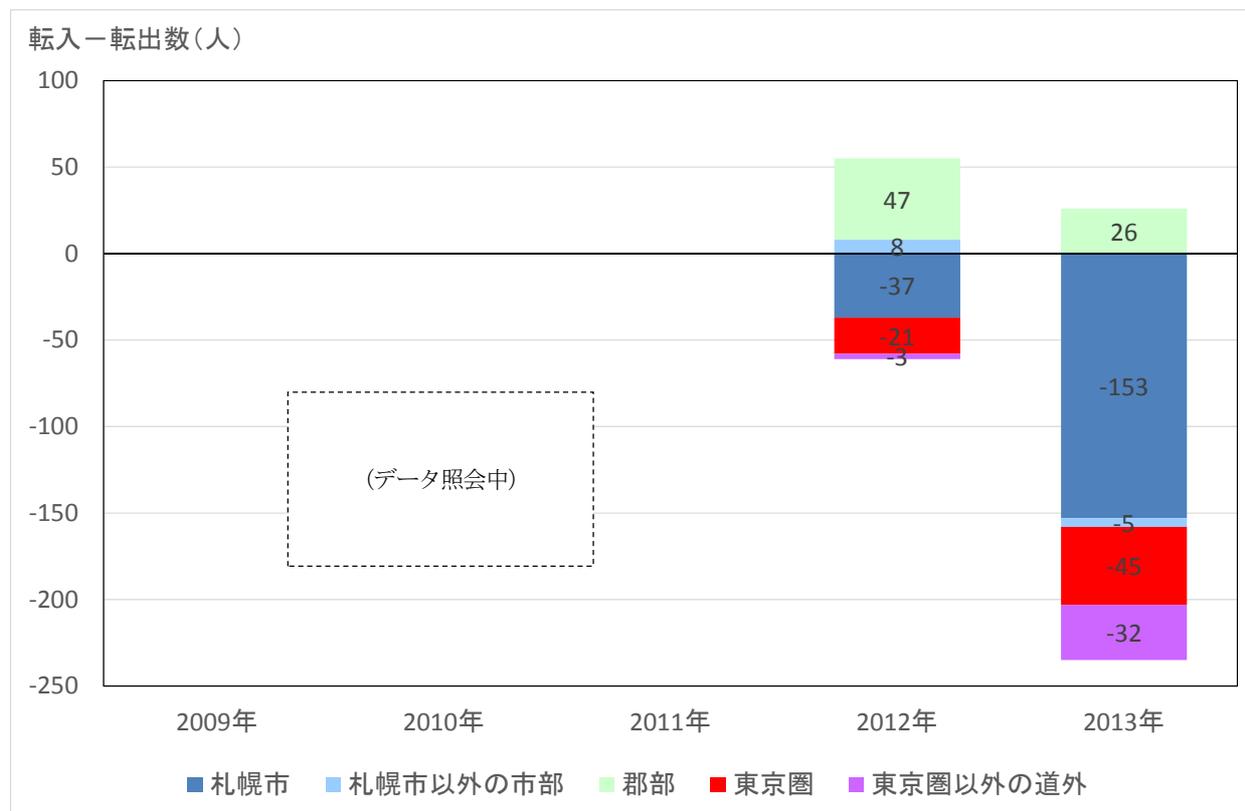
(分析・考察)

(転入・転出)



※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表(国提供)」データにより作成。

(転入・転出超過)

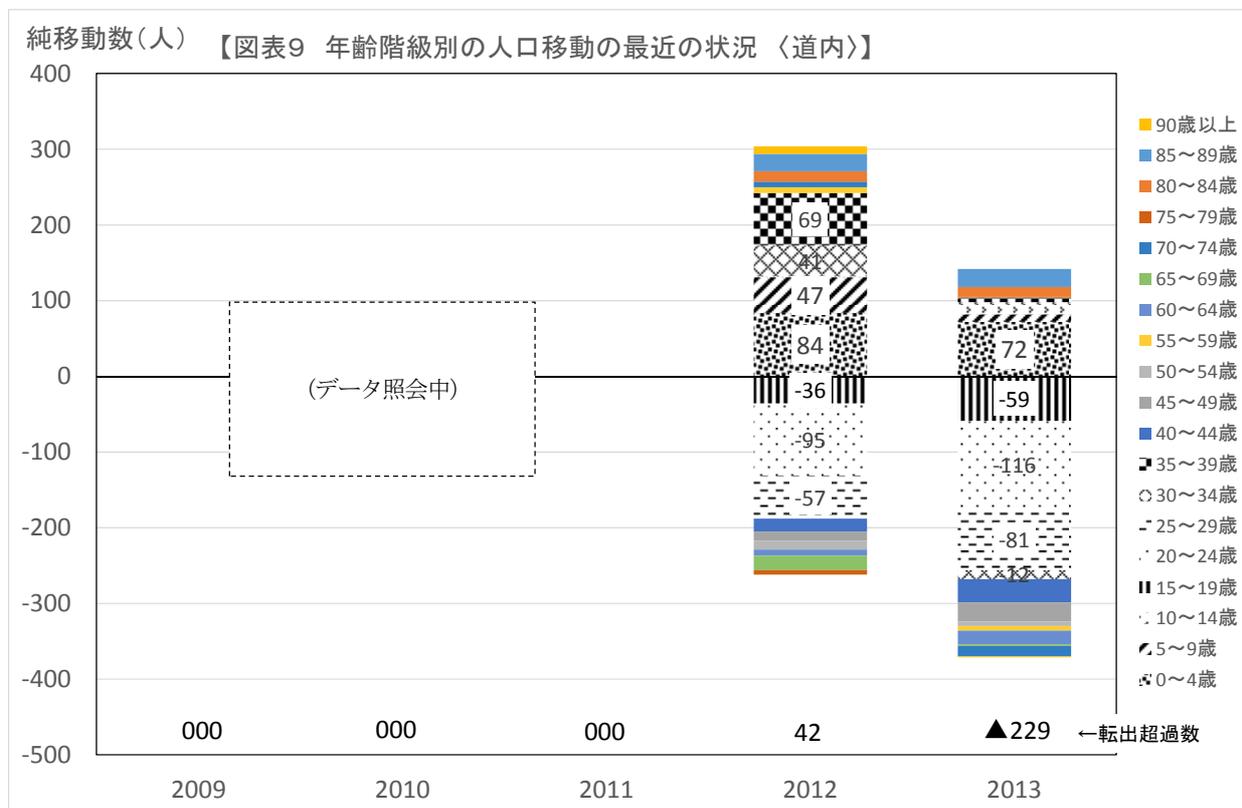


※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表(国提供)」データにより作成。

(4) 年齢階級別の人口移動の最近の状況

①道内

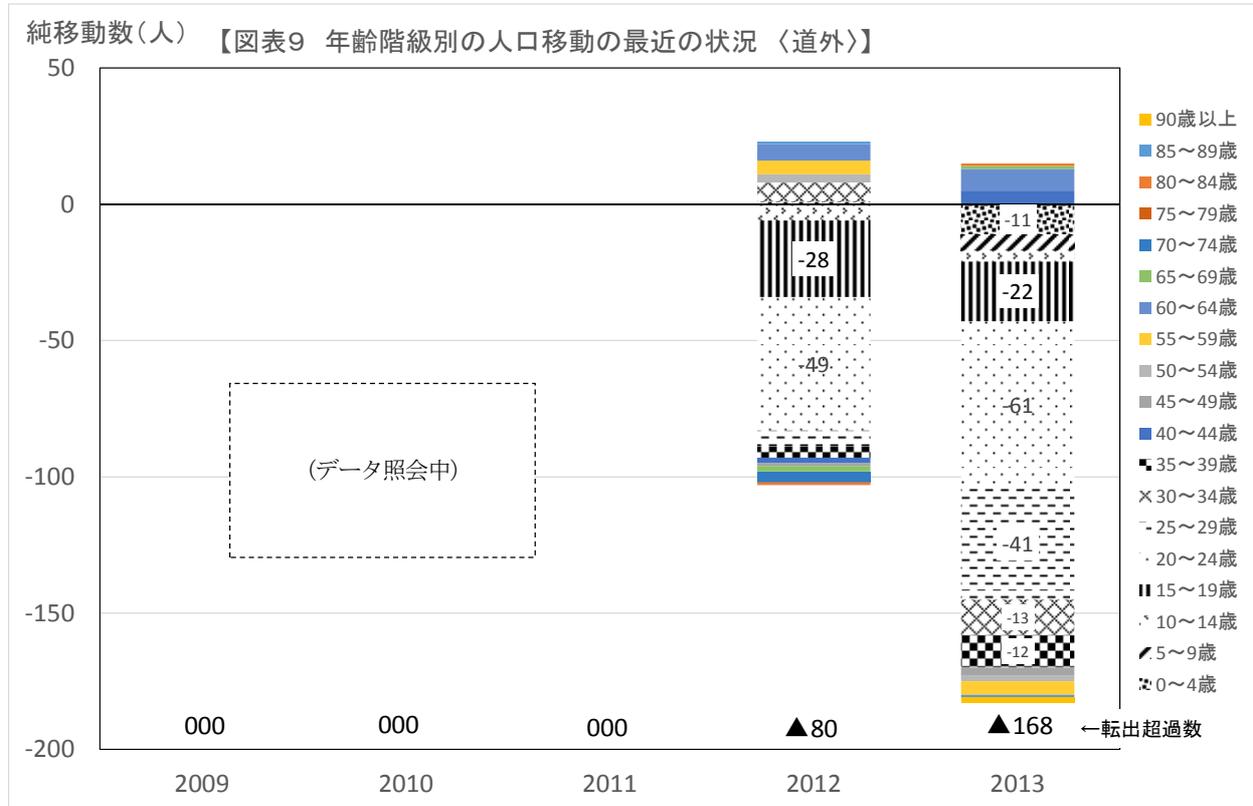
(分析・考察)



※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表(国提供)」データにより作成。

①道外

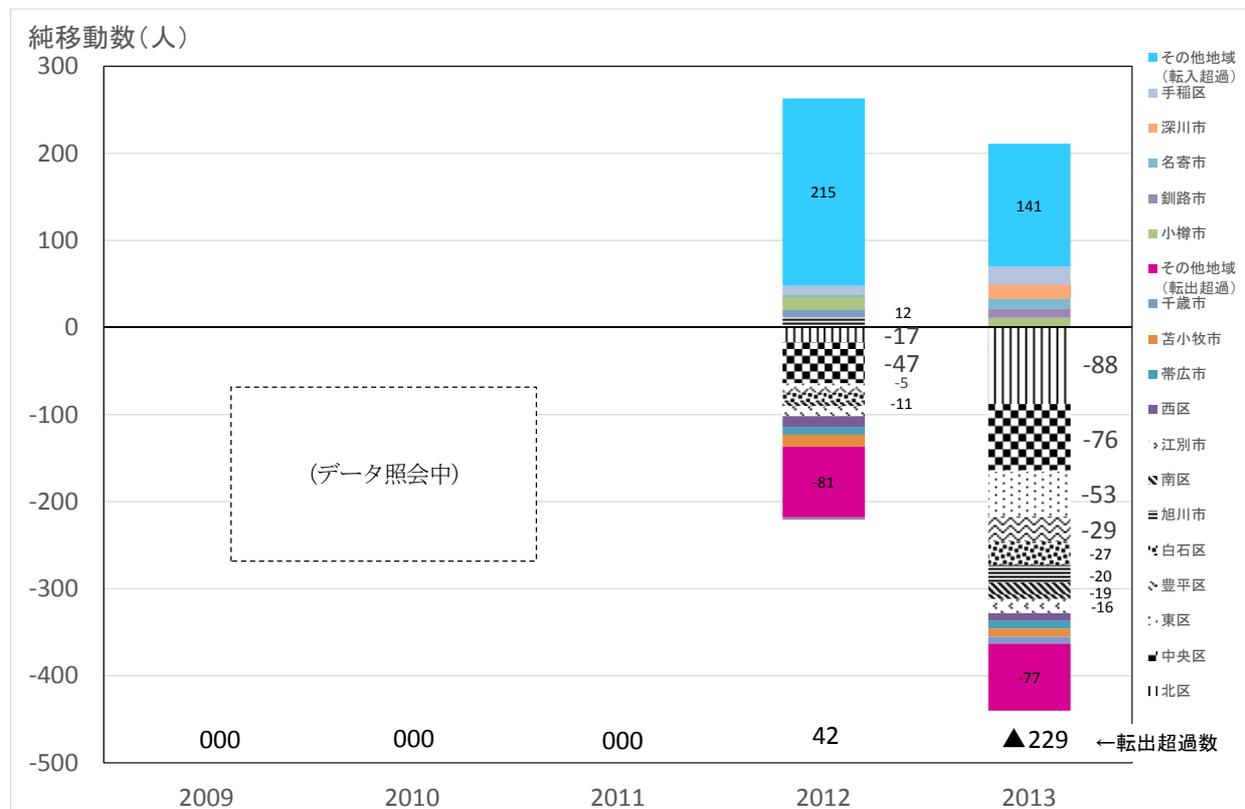
(分析・考察)



※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表 (国提供)」データにより作成。

(5) 道内市区への人口移動の最近の状況

(分析・考察)

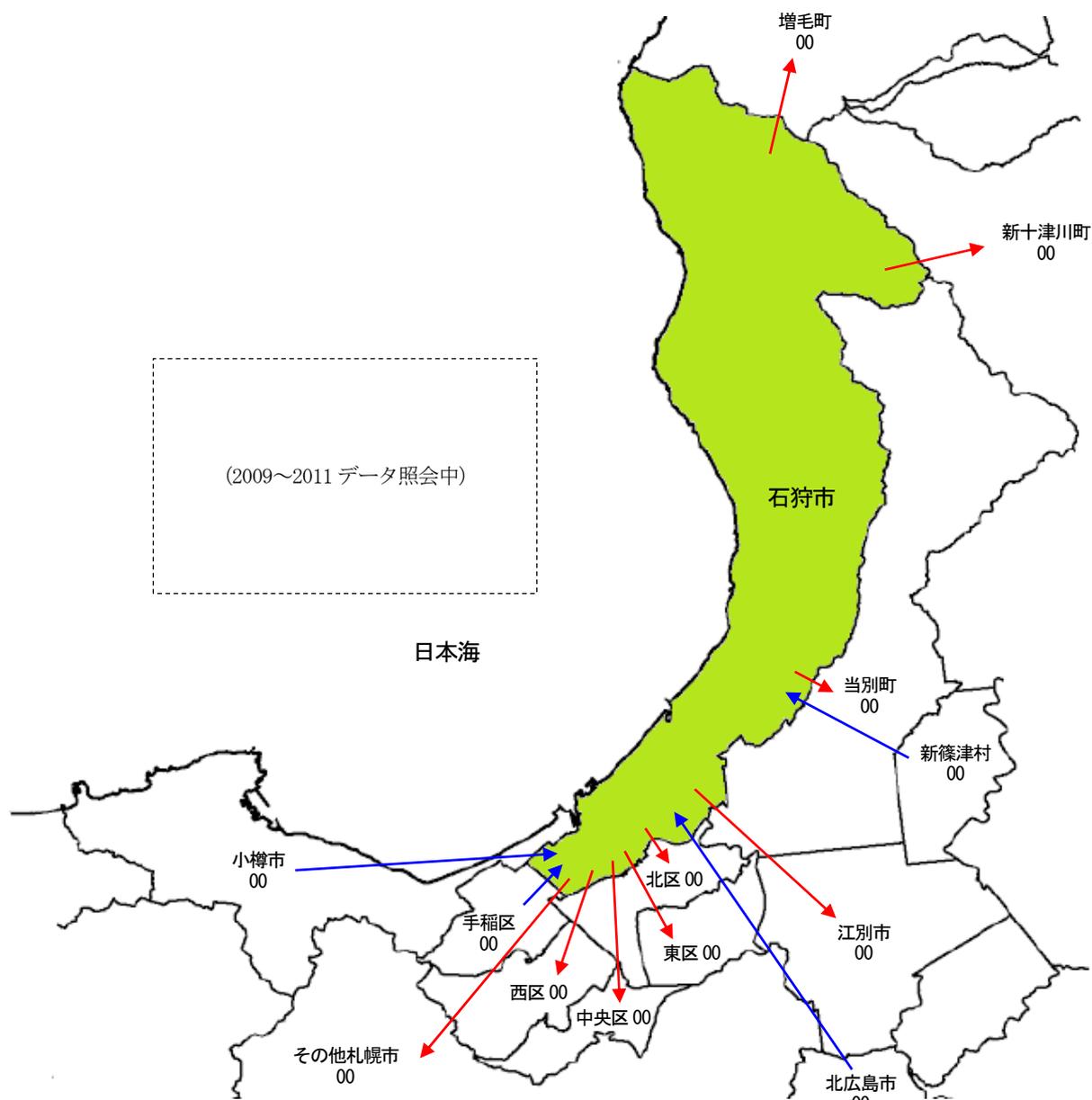


※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表(国提供)」データにより作成。

(6) 周辺市町への人口移動の最近の状況

①2009年、②2010年、③2011年

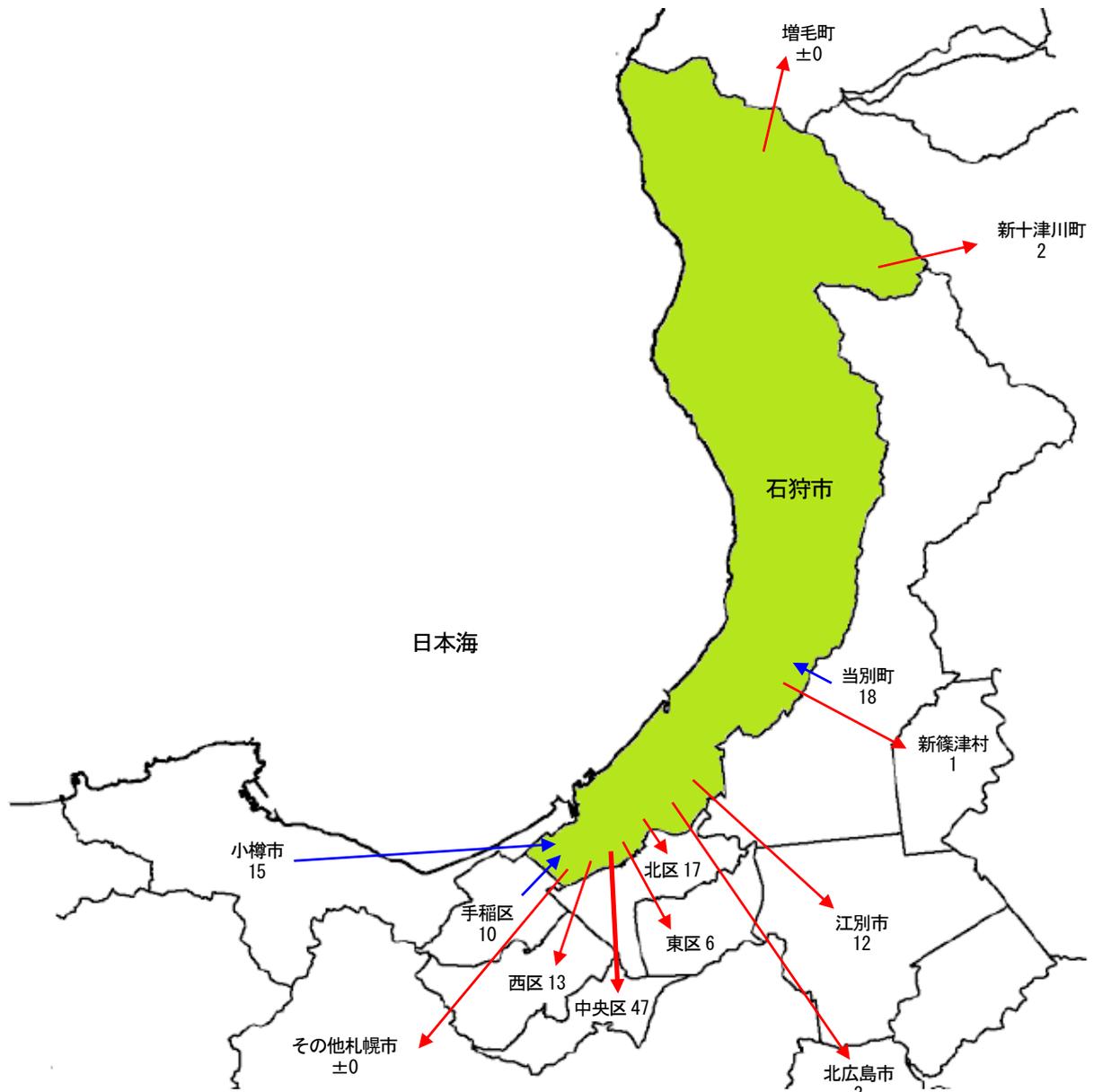
(分析・考察)



※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表 (国提供)」データにより作成。

④2012年

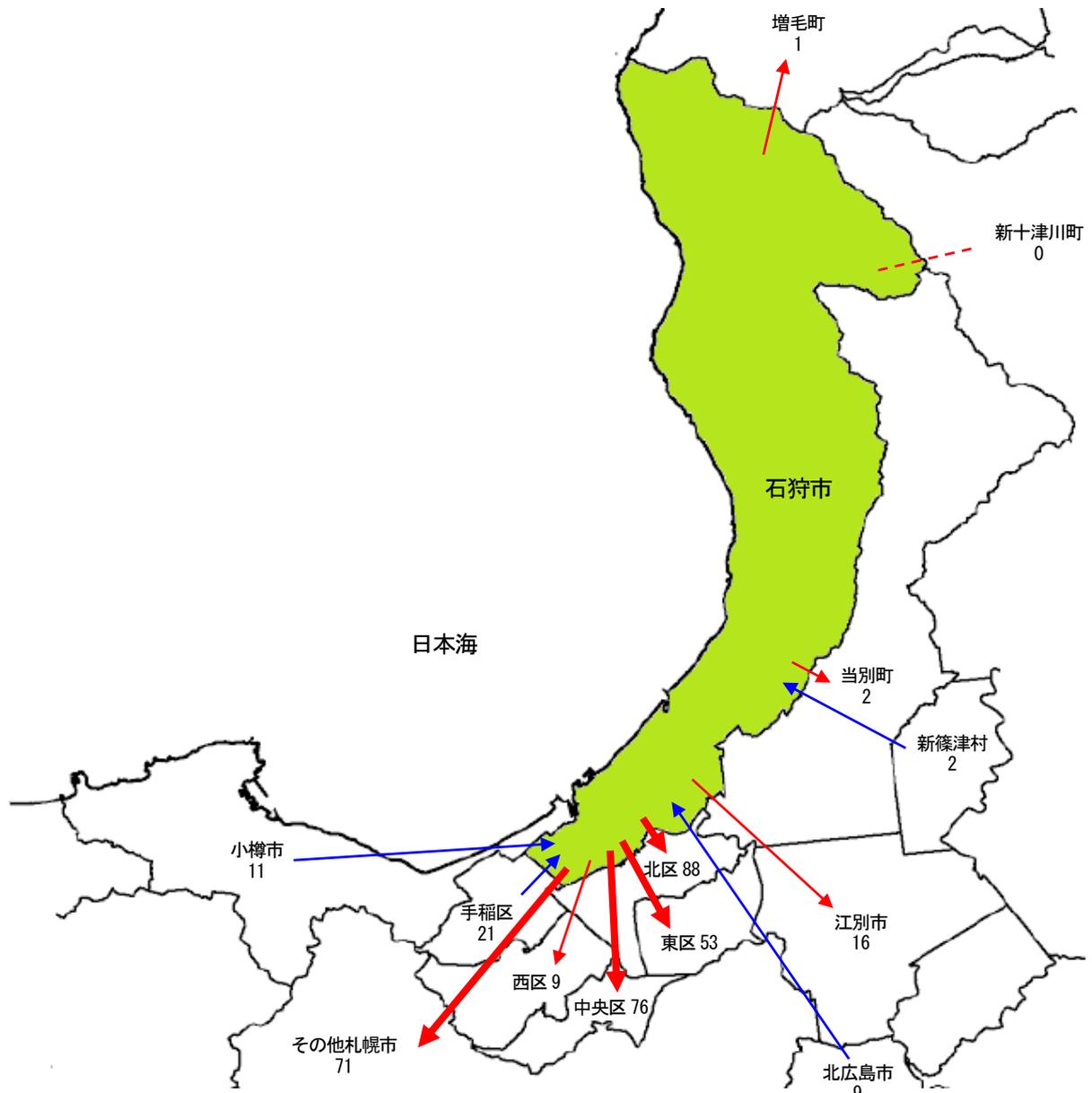
(分析・考察)



※2009～2011年は情報政策課調べ、2012及び2013年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表 (国提供)」データにより作成。

⑤2013 年

(分析・考察)



※2009～2011 年は情報政策課調べ、2012 及び 2013 年については「住民基本台帳人口移動報告 詳細分析表 (国提供)」データにより作成。

## 第2

## 将来人口推計

※ 社人研推計準拠（パターン1）、日本創生会議推計準拠（パターン2）、人口置換水準回復ケース、転入転出均衡ケースについて、それぞれシミュレーション。

（参考）

別紙「将来人口推計カルテ（出典：地域人口減少白書／（一社）北海道総合研究調査会）」参照

## 第3

## 人口の将来展望

※ 本市総合戦略の「具体的な施策」の効果を踏まえた、独自目標 等

